



令和5年度文化芸術振興費補助金
地域文化財総合活用推進事業（世界文化遺産）



じょう もん まな 縄文字びのガイド

きた じょう もん まな
北の縄文を学ぼう!
じょう もん まつ いの
ビデオクリップ④～縄文のお祭りや祈り～





もくじ

<u>ビデオクリップ 解説（縄文人のお祭りや祈りについて）</u>	1
<u>ビデオクリップ 解説（北黄金貝塚について）</u>	2
<u>ビデオクリップ 解説（北黄金貝塚について）</u>	3
<u>ビデオクリップ④について調べられるところ</u>	4
<u>ワークシート</u>	5
<u>ワークシート（答え）</u>	6
<u>指導者用ビデオクリップ解説</u>	7・8

見たいページのタイトルを
クリックするとそのページ
にジャンプできるよ！





ビデオクリップ 解説（縄文人のお祭りや祈りについて）



シカの骨とクジラの骨で作られた
スプーン状の器具
【北黄金貝塚（伊達市）】



土偶
【高砂貝塚（洞爺湖町）】

1万年の長い年月の間には、温暖な時期もあれば寒冷化した時期もあり、気候や環境が大きく変化していました。この間、縄文人は暮らし方を工夫し、環境の変化に適応しながら暮らしました。縄文時代の遺跡から見つかるお墓の様子やお祭り・祈りに使ったと考えられている道具から、祖先を敬う気持ちや、道具や自然を大切にする考え方があったと考えられています。貝塚やお墓でお祭りや祈りに用いたと考えられる道具が見つかっています。





ビデオクリップ 解説（北黄金貝塚について）



北黄金貝塚の場所



復元された貝塚

北黄金貝塚（伊達市）は、この地域にある貝塚の中でも大きなもので、豊かなくらしがあったことが分かります。貝塚は貝がらや動物の骨など食料の食べかすを捨てた場所です。その貝塚を調査することで、当時の人々が何を食べていたのかがわかります。

貝塚では、ホタテの貝がらやシカの骨が、きちんと重ねられたり、ならべられたりした状態で出土しました。また、人の骨も埋葬された状態で見つかっています。ただ捨てたのではなく、人や動物、そして物の命をあの世へ送る「送り場」として、とても神聖な場所でした。





ビデオクリップ 解説（北黄金貝塚について）



みずばいこう　きたこがねかいづか　だてし
水場遺構【北黄金貝塚（伊達市）】



こ　いし　いしさら　きたこがねかいづか　だてし
壊されたすり石と石皿【北黄金貝塚（伊達市）】

遺跡の中のわき水の近くからは、「すり石」と「石皿」という、物をすりつぶす石の道具が1,200個も見つかりました。ここから見つかったすり石はほとんどが壊れています、石皿は使う面を下に向けた状態で発見されました。。このことから、使わなくなった道具に感謝を表す儀式がここで行われていたと考えられています。





ビデオクリップ④について調べられるところ



● 北黄金貝塚情報センター
住所 伊達市北黄金町75
TEL 0142-24-2122
公式HP [伊達市噴火湾文化研究所](#)
開館時間 9:00~17:00
休館日 12月1日~3月31日
入館料 無料

ホームページで
詳しく調べて
みよう！



● おすすめのページ
「北黄金貝塚」

<https://jomon-japan.jp/kids/learn/map/kitakogane/>



●縄文住居展示資料館カルコ
住所 つがる市木造若緑59-1
TEL 0173-42-6490
公式HP [つがる市役所](#)
開館時間 9:00~16:00
休館日 月曜日（祝・休日の場合は翌日）

入館料	小・中学生	高校・大学生	一般
	50円	100円	200円



●史跡ニツ森貝塚
住所 上北郡七戸町字貝塚家ノ前
TEL 0176-58-5530
公式HP [七戸町観光物産推進協議会](#)
開館時間 日没まで
休館日 無休（冬季閉鎖）
入館料 無料

出典・提供：

JOMON ARCHIVES、伊達市噴火湾研究所、つがる市役所、七戸町観光物産協議会

ワークシート

ねん
年
くみ
組
なまえ
名前

①「きたこがねかいづか」を漢字で書いてみよう。

きた こ がね かい づか

--	--	--	--	--

③貝塚についてわかったことをメモしよう。

きた
じょう
もん
まな
北の縄文を学ぼう!

じょう
もん
しゅう
らく
ビデオクリップ③～縄文の集落～

②下の写真の「きたこがねかいづか」で
はつ
しゃ
しん
発掘されたものの説明をしよう。



ワークシート

年 組 名前

こた
答え

①「きたこがねかいづか」を漢字で書いてみよう。

きた こ がね かい づか

北 黄 金 貝 塚

③貝塚についてわかったことをメモしよう。

貝がらや動物の骨など、食料の食べかすを
すべてた場所で、人や動物の命、そして物の
魂をあの世へ送るお祭りや祈りの場でも
あった。

きた じょう もん まな
北の縄文を学ぼう!

じょう もん しゅう らく
ビデオクリップ③～縄文の集落～

②下の写真の「きたこがねかいづか」で
はつ くつ せつ めい
発掘されたものの説明をしよう。



ほね つく
シカやクジラの骨で作られた
どう ぐ ひと どう ぶつ いのち
道具で、人や動物の命、そして
もの たまひ よ おく まつ
物の魂をあの世へ送るお祭りや
いの つか かんが
祈りに使われたと考えられている。



指導者用 | ビデオクリップ解説 (北黄金貝塚)

名称	北黄金貝塚（きたこがねかいづか）
時期	約9,000年前（縄文早期）から約3,000年前（縄文後期）ごろまで
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 上坂台地・茶呑台地と呼ばれる2つの丘にまたがる。 5つの貝塚をもつ大規模な集落遺跡。 磨製石器が多量に発見された水場遺構は北海道では唯一の発見例。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 1948年に発見され、1950年には地元の高校の郷土研究部が発掘調査を実施した。



水場遺構の発掘調査



スプーン状の器具
(鹿角・鯨骨製、儀礼用具か)



史跡公園の様子

出典 : JOMON ARCHIVES



指導者用 | ビデオクリップ解説 (縄文の送りについて)



縄文人の墓



壊されたすり石と石皿

縄文時代の貝塚は、考古学の研究が始まったばかりの頃は食料残渣を廃棄するゴミ捨て場と考えられていましたが、亡くなった人の埋葬が認められることから「送り場」であると考えられるようになりました。「送り場」とは、食料となった動植物や使った道具、人間の命などに対して感謝の再生の祈りを捧げる空間を指します。

北黄金貝塚の水場遺構も、出土した石器が壊れていますことや使用面が下に向けられていることから、道具の廃棄に伴う儀式を行った場であると考えられています。

出典：史跡北黄金貝塚『縄文の丘』

参考：関根達人『モノから見たアイヌ文化史』（吉川弘文館）、2016／北黄金貝塚情報センターパンフレット